

本日初めて「お茶碗で主食を食べる給食」を実施！

～食事の基本的なマナーを自然に学ぶことが！また、完食の喜びも！～



6月4日(月)から、高ノ台幼稚園と高ノ台第2幼稚園では、ご飯をお茶碗で食べる給食が始まりました。

今までは、おかずの入っているものと同じようなパックにご飯も入っていました。誰も同じ量です。多すぎて残す子もいれば、「先生、これじゃ足りないよ。」と不満げな子も。「ふりかけご飯」がメニューの時は、事前に業者の方でご飯にふりかけをかけているので、配られるとその部分だけご飯を残す園児もいました。



しかし、今日からは先生がお茶碗にご飯を盛ります。「いっぱい？、それとも少な目？」などと聞いて一人一人の量を調節していきます。ふりかけも、かけてほしい人は手を挙げさせ、欲しい子にだけかけてあげます。

お茶碗でご飯を食べるのに慣れることは、日本の食事のマナーを覚えることにつながります。「片方の手でしっかりとお茶碗をもって（小さいので実際は押さえて）食べる」ことや、「お箸やフォークを使ってご飯を口に運ぶ（口を茶碗の方へ持っていく犬食いはしない）」ことなど、基本的な動作を自然と学ぶことになります。



まだ初めてでできこちない仕草の園児たち。でも「習うより慣れろ」。少しずつ上手になってくると思います。



[写真] (一番上)一人ひとりに合った量を盛ります。

(2段目)ふりかけも希望者だけに。安心して食べられます。

(3段目)ぼんび組さんも頑張ってるチャレンジ。スゴイ！！

(4段目の左と中)年少組さんもお箸やフォークで上手に！

(4段目の右と一番下)年長組さんはさすがです。片手でしっかりと茶碗をもって食べることが出来ます。素晴らしいです！

※ご家庭でのご理解とご協力もお願いします。